

進路だより『羅針盤』

郡山市立日和田中学校
令和2年6月26日
第7号文責：鈴木智也

定期テストに向けて

よい学習習慣を身につけて、力を伸ばそう!!

先週、定期テストⅠの範囲表が配付され、皆さんも定期テストの学習計画を立てたかと思います。計画的に学習を進め、よい結果が得られるといいですね。ところで、よい学習習慣を身につけたり、計画的に学習を進めたりするためにはいくつかのコツがあります。

- (1) 同じ時間、同じ場所で学習する。
 - 毎日同じ時間帯や場所で学習することで、学習習慣が身につけやすくなります。
- (2) 曜日ごとに学習する教科を決める。
 - 時間割を考えて、曜日ごとに学習する教科を決めておきます。
- (3) 何を、どの位やるのかを決める。
 - 国語はワーク、数学は問題集など、各教科で学習する内容を決めておきます。
 - ワークを2ページ、問題集を1ページなど学習する量を決めておきます。
- (4) 時間ではなく、決めた内容を決めた量だけ学習したら終わる。
 - 集中して学習する習慣を身につけられます。



以上の4つをすることで、机(人によってはテーブル?)に向かった時に、何をすればよいのかがわかり、すぐに学習を始められます。そして、決めた量だけやればよいので、集中して学習ができます。曜日ごとに学習する教科を決めておけば、各教科バランスよく学習できます。テスト勉強を進める中で「よい学習習慣」を身につけていきましょう。「よい学習習慣」を身につけることで、受験にも大変役立ちます。

得意教科を勉強する？ 苦手教科を勉強する？

テストをすると、点数が高い教科と低い教科が出てきます。点数がとれる教科では、下のようなサイクルが生まれます。

わかる → 勉強しやすい → 勉強する → 点数がとれる → うれしい → 勉強する

一方、点数がとれない教科では、下のようなサイクルが生まれます。

わからない → 勉強しにくい → 勉強しない → 点数がとれない → 残念 → 勉強しない

このようなサイクルができてしまうと、得意な教科と苦手な教科ができてしまい、点数に差が出てしまいます。そんな時はこのように考えてみましょう。100点満点のテストでは、

数学で「80点」だったら、満点まであと20点

英語で「50点」だったら、満点まであと50点

数学で20点の中から20点を取るのと、英語で50点の中から20点を取るのでは、英語の方が点数を取りやすく、効率的です。最終的に入試では、5教科の合計点で合否が判定されるため、各教科でまんべんなく点数を取っていた方が有利です。ですから、苦手教科の中で点数が取れそうなところをしっかりと勉強して、点数を稼ぐのがよいでしょう。

特に1、2年生の皆さんは、今のうちに各教科で平均的に点数が取れるようにしておきましょう。

